

科目名	教科書名	副教材名
高3特進理系 化学特講	新編化学基礎 化学 Vol.1,2 (東京書籍)	ビーライン化学基礎(第一学習社) ビーライン化学(第一学習社) ニューステップアップ化学基礎(東京書籍, Libry) ニューグローバル化学基礎+化学(東京書籍) サイエンスビュー新化学資料(実教出版)

#### 1. 授業のねらい

- ① 共通テストやセンター試験の過去問題等を解き、高校化学全体に渡る計算・知識の総整理を行う。
- ② 体系的な計算法を学ぶことにより、問題に共通する論理を捉え解答作成に活かしていく。

#### 2. 授業のすすめ方

- ① 知識問題の確認テスト(冒頭の約5分間程度)
- ② ビーライン化学基礎・化学の問題を順次解説していく。
- ③ 関連事項を確認しつつ、解法・選択肢の正誤などの理由などについて質問をする。  
十分な回答ができるように準備をしておくこと。

#### 3. 学習上の留意点

- ① 授業の進度に関わりなく、各自で教科書や問題集・Classi等を利用して全範囲の基本的な知識の確認をしておくこと。
- ② 問題集は各自で進めておくこと。

#### 4. 副教材・参考文献

ビーライン化学基礎(第一学習社)  
ビーライン化学(第一学習社)  
ニューステップアップ化学基礎(東京書籍, Libry)  
ニューグローバル化学基礎+化学(東京書籍)  
サイエンスビュー新化学資料(実教出版)

#### 5. 評価方法

以下のように、定期考査・授業や課題への取り組み・提出物・演習テストなどにより、総合的に評価する。

- ① 定期考査は、各回100点満点の問題で、1学期中間・1学期期末・2学期期末の3回実施し、その得点を評価する。
- ② 平常点は、1学期20点満点、2学期20点満点で、授業(質疑応答)への取り組み・提出物・小テストなどで評価する。
- ③ 提出物の期限は厳守すること。

年間の計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	<p>■一学期</p> <p>(1) 確認テストによる復習 原子・周期表・結合・身近な物質など 無機物質（非金属，金属）など</p> <p>(2) 体系的計算法① 物質量・濃度・気体・水溶液 酸塩基・酸化還元・電池電解 熱化学方程式・速度・平衡</p> <p>(3) 有機化学 分離・分子式・異性体 アルコールを中心とした反応 ベンゼンから始まる反応</p>	授業中の質疑応答やテスト等で評価。	<p>□Classi を用いた化学の基本問題演習 Classi を用いて，高校化学全範囲の基本問題を解き知識等の確認を行う。</p> <p>分野別に問題を解く中で，自分の弱点とする部分を発見し，補強する。</p> <p>計算問題の構造を捉え 立式ができるようになる。</p> <p>有機化学（標準問題）の解答が作成できる。</p>
	五月			
	六月			
	七月			
二 学 期	九月	<p>■二学期</p> <p>(4) 体系的計算法② テーマ別問題</p> <p>(5) 高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物</p> <p>共通テスト試験等の類題演習</p> <p>*電子黒板を用いて， 問題に関連する事項を視覚的にも確認する。</p>	授業中の質疑応答やテスト等で評価。	計算問題の分野が異なっても，同じ論理で対処できるようになる。
	十月			
	十一月			
三 学 期	一月 二月 三月	■特別編成授業		